

別記様式（第3条関係）

## 会 議 録

### 1 会 議 の 名 称

令和2年度第2回石岡市男女共同参画審議会

### 2 開 催 日 時

令和3年2月9日（火）午前10時00分から午前11時20分まで

### 3 開 催 場 所

石岡市役所 本庁3階 302会議室

### 4 出席した者の氏名

清山委員，廣澤委員，古谷野委員，高城委員，谷島委員，安達委員，中嶋委員，山本委員  
櫻井委員（委員9名）

事務局：加藤公室長，細谷課長，増田課長補佐，大関係長，前野主幹

### 5 議 題

- （1）令和2年度実施事業の進捗状況について
- （2）令和3年度実施予定事業（政策企画課）について

### 6 審 議 の 内 容

議事録のとおり

### 7 担 当 課 の 名 称

市長公室 政策企画課

## 1. 開会

## 2. 挨拶

清山会長より挨拶

## 3. 議事

清山会長により議事の進行

### ■ (1) 令和2年度実施事業について

事務局：資料1，資料2に基づき説明

委員：石岡未来会議オンラインを実施しているが内容はどのようなものか。また、女性人材情報の整備事業については、どのような成果があったのか。

事務局：石岡未来会議オンラインについては、市民会館の建設等に向けた新しい公共施設の在り方や、人が集まる場所とはどういう場所かなどをオンラインで4回会議を行い検討した。参加者については、市内だけでなく県外在住の方など様々、また若者から高齢の方まで幅広い年齢層が参加した。女性の人材登録制度については、各課の審議会改選時の際に提供できる名簿が整備されていること自体が成果であると考えている。今後は、市報で新たな登録者の確保と、名簿登載された方の紹介など啓発をさらに推進していきたい。

会長：イクボスハンドブックについて、薄くて軽くて持ち運びしやすい、見やすい、ホームページには、PDFでダウンロードできるので、クリック一つで情報提供ができています。みんなに周知しやすい。使いやすいと感じている。

委員：イクボス企業同盟は50社超も登録があるのに、セミナーへの参加が少ないのでは。企業の求めているものとテーマ内容がマッチしていないのでは。せっかく立ち上げた仕組みをどう活かしていくかを検討することが重要。

会長：機能を維持し、かつ強化していくことは大切。

事務局：要望とテーマ内容がマッチしていないのではという視点での振り返りを行ってほしい。アンケート、ヒアリングなどで要望を把握する機会も検討したい。また、セミナー参加者だけで効果が終わってしまうのはもったいないとの意見を踏まえ、冊子の発行を行い、企業同盟参加社へ送付したところ。

委員：セミナーのオンライン開催を検討してはどうか。

委員：県でも実施している。時代が変わってきている中で、開催方法も積極的に検討して試してみると良いではないか。

会長：世間もだいぶオンラインでの参加には対応できていると考える。高齢の方への配慮として、アプリダウンロード支援や、会場を設置してサテライト開催などを併用しても良いのでは。業界によって事情もあるので、働き方の違いを配慮しつつ業界ごとにテーマ設定など分けてセミナーを行うとテーマもより具体的になり、ミスマッチも減る。参加者同士の情報交換もできる。

委員：自身の経験から、浸透-検証の部分が難しいと考えている。職場の温度差。家事育児より仕事がしたいという自身の思い。事業所ごとの実態・意見がある。まだ浸透が十分にいきわたっていない。

委員：イクボスセミナーの開催により育休取得数が増えた、というストーリーの発信やPRが、企業の取り組みを促すのではないかと。

委員：経営者は若いうちの経験や先輩からの教を理想にしていると考えている。分かりやすく身近で親しみあるような講師による講習が良いのでは。たとえば、地元の人を講師に呼んで開催してはどうか。

会長：身近なロールモデルを取り上げて講師をお願いすると良い。地元の商工会議所の方など。加えて、補助金の活用例。ものすごく身近で小さな活用例、働き方改革につながる事例がたくさんある。補助金の紹介と合わせて開催してもいいのでは。

### ■令和3年度実施予定事業（政策企画課）について

事務局：資料3に基づき説明

委員：冊子作成について育休取った職員の紹介や良かったことなど感想を具体的に掲載すると浸透していくのでは。

会長：組織として一斉に取り組むと数値が上がりやすい。ビフォーアフターを見せる。休業を予定していなかった人が少し取る、または休業を予定していた人がより長く取る、という方向で推進するとよい。月単位で比較的長期にとっている人の紹介は職場として強いアピールポイントになる。

委員：アンケートについて対象の無作為抽出だが、年齢構成を守ると高齢者が多くなる傾向。ポイントをしばって行ってみようか。若い方が多く回答できるようにするなど。セミナーについても対象を絞って周知を行うと良いのでは。

会長：若い方を対象にするにはオンライン調査が有効。働いている人の育児・介護の問題を抱えている人に届くようなアンケートが良い。

委員：若い人向けならマチコミメールなども有効では。冊子に掲載するインタビュー依頼については、保育所関係の団体等を通じ、保護者への依頼が可能なので協力したい。

委員：イクボスセミナーに参加すると、補助金が受けられるなど、メリットを明確に示し開催すると良いのでは。

会長：セミナーのテーマ選定にあたっては、生産年齢人口が減っていく中で、雇用調整を間違えると、将来の事業継続などに大きな影響がでることや、完全失業率や、有効求人倍率の推移に着目し、ハローワークなどと連携して労働環境を見据えながら実施すべき。

委員：女性のキャリアアップセミナーについて、県でも対象を分けて開催した。講師の先生も良かったが、参加者同士の啓発の場としても良かったようだ。同じ職場の同僚だと意見を言いづらい。参加する方を分けて募集したり、県と連携したりすると良いのでは。

会 長：周知や企画の段階で県と協力すると良いのでは。

自身関わっているセミナーでは、実際の管理職の女性を招待して話を聞く。家事をなるべく楽にしたり、人に頼って育児を行っていたりという経験の話が好評のようだ。個人の私生活に立ち入った話も非常に参考になる。また、参加者へビフォーアフターのアンケートを行うと良い。

委 員：一般の企業は、人員に余裕があるところばかりではない。まず企業の実態の把握から本当の支援を検討することが地域の浸透になるのでは。

会 長：思ったよりも簡単にできた。新しいことでも、やってみると簡単なことがある。などの意見をセミナーで話してもらえると良いのでは。思い込みによりやっていないことで簡単に省力化につながる人が多い（オンライン会議など）。難しく感じたがクリアできたことなど、身近な事例を講演内容に取り入れると、取り組みのきっかけになるのでは。

委 員：パンフレットを作って終わり。ということが多く感じられる。成果や活用事例なども意識して取り組んでほしい。

委 員：ハラスメントの防止について、一般企業の方でも開催する必要がある。共催できれば一番いいのではないか。

会 長：法令等により企業要望が高まっている。ぜひマニュアル等を周知していただきたい。

会 長：他に意見がなければ、本日予定していた議事は以上になるので、進行を事務局へ戻したい。また、アンケートの新しい質問項目や集計方法なども含め、後で気づいたことがあれば事務局までお願いしたい。ありがとうございました。

## 5. その他

事務局：次年度の審議会も2回の開催を予定しており、文書で通知いたします。

## 6. 閉会